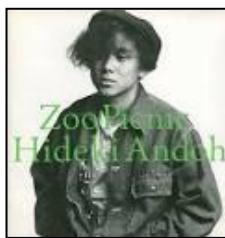


# ROCK界の 吟遊詩人 安藤秀樹

「おお！ 安藤秀樹だ」という80年代を謳歌した人、「ウチの学校の校歌を作った人だ」というあだちっ子、「安藤秀樹って何の人？」という現代っ子も皆注目！ 中央本町地域学習センターで12月22日（日）に『安藤秀樹トークショー＆ミニライブ』を開催します。そこで今回は、現在音楽プロデューサーとして足立区で活躍する安藤秀樹さんを紹介します！



1986年に「Foolish Game」でデビューした安藤秀樹さん。CDジャケットの写真を見て、「ああ～！」と思いたず方も多いのでは？ 80年代といえば日本の音楽業界華やかなりし頃、今も活躍する数々のアーティストが次々にデビューした時代でした。安藤さんは、自身の歌手活動のかたわら、吉川晃司や鈴木雅之、高橋克典、織田裕二、鈴木聖美などの歌手の作詞作曲を手掛け、現在は音楽プロデューサーとして活躍されています。



- 1986年 「Foolish Game」でデビュー
- 1993年 「Moon Light～想いは波のように～」  
テレビ東京系列「トランタン白書」エンディングテーマ
- 1998年 「百万の言葉より」  
朝日放送系列「熱闘甲子園」エンディングテーマ
- 2002年 「ADACHI」をリリース

世代を超える、地元・足立区に密着した活動を続ける。

中央本町地域学習センターとのコラボレーション！

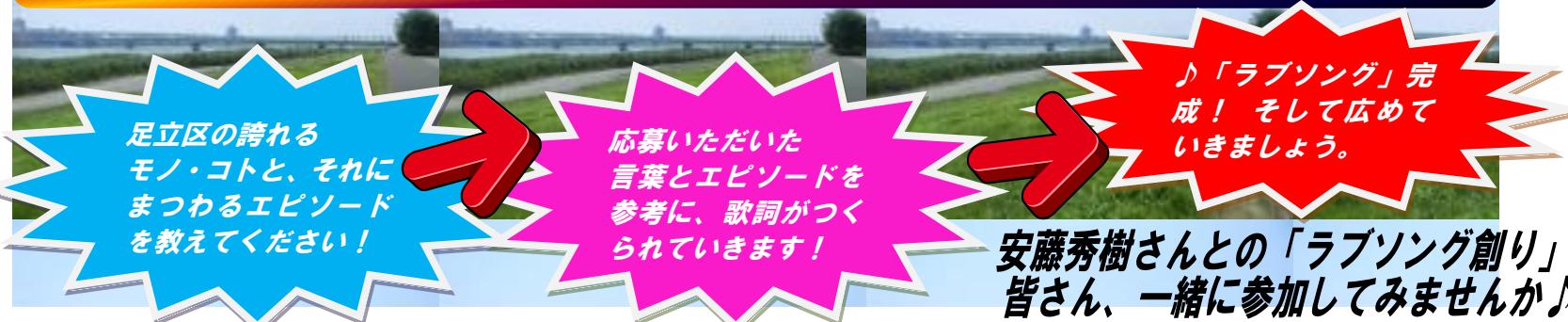


(現在の安藤さん)

実は安藤さん、足立区千住生まれ千住育ちで生粋のあだちっ子なのです。2002年に制作したアルバム「ADACHI」には、地元への熱い想いが込められています。また**千住宮元町にある千寿青葉中学校の校歌の制作者**でもあり、たびたびゲストティーチャーとして講演やライブを行い、吉川晃司やアン・ルイスなど80年代の音楽シーンを知らない生徒たちと音楽を通じた交流を図っています。

現在のアイドルプロデュース活動の拠点のひとつとして、中央本町地域学習センターは機能しています。「そんなすごい人がこんなに近くにいるなら、足立区や中央本町地域学習センターとコラボして、何か面白いことが出来るのでは？」というスタッフの想いから始まったのが、「あだちラブソングプロジェクト」と今回のトークショー＆ミニライブなのです！

ラブソング制作構想～足立区に愛着はあるけれど、誇れるものがありますか！～



# Hideki ANDOH Talk show & Mini live

地元だから実現した、スペシャルトークショー＆ミニライブ！

安藤秀樹流作詞術、古くから交流のあるアーティストたち、デビューした80年代から現在までの音楽業界の流れなど、もりだくさんの内容でお届けします！ 80年代の音楽シーンを知る人には懐かしく、現代の音楽を聞きなれている中高生はきっと新鮮な驚きが得られるはず。普段は聞くことができない音楽業界の裏側を知るチャンス！ トークショーの後はギターのミニライブを開催します。

安藤さんからひと足早いクリスマスプレゼントのトークと歌をお届けしますので、お一人でもお友達同士でも家族みんなでも聴きに来てください！

先着90名  
予約受付中！



ライブ中の安藤さん(右端)

【日時】12月22日（日）  
14:00～16:00

【場所】中央本町センター2階 レクホール

【対象】どなたでも 【定員】90名

【料金】500円

【出演】安藤 秀樹（音楽プロデューサー）  
※窓口と電話にて予約を受け付けております。